

平成25年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年4月25日

上場取引所 大

上場会社名 B-R サーティワン アイスクリーム株式会社

コード番号 2268 URL <http://www.31ice.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 裕明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 兼 経営企画室長 (氏名) 門田 浩

TEL 03-3449-0331

四半期報告書提出予定日 平成25年5月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第1四半期の業績(平成25年1月1日～平成25年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第1四半期	3,763	3.2	157	△18.1	170	△15.9	91	△18.7
24年12月期第1四半期	3,646	11.3	192	18.1	202	16.3	112	488.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第1四半期	9.47	—
24年12月期第1四半期	11.65	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第1四半期	14,494	10,559	72.9
24年12月期	15,546	10,929	70.3

(参考) 自己資本 25年12月期第1四半期 10,559百万円 24年12月期 10,929百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	40.00	—	50.00	90.00
25年12月期	—	—	—	—	—
25年12月期(予想)	—	40.00	—	40.00	80.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年12月期の業績予想(平成25年 1月 1日～平成25年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,230	1.6	570	△6.4	580	△9.6	320	△8.6	33.21
通期	21,700	4.4	3,000	8.2	3,070	7.1	1,780	12.8	184.72

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料P.4「2. サマリー情報(注記情報)に関する事項(1)四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年12月期1Q	9,644,554 株	24年12月期	9,644,554 株
② 期末自己株式数	25年12月期1Q	8,561 株	24年12月期	8,561 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年12月期1Q	9,635,993 株	24年12月期1Q	9,635,993 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間(平成25年1月～3月)における我が国経済は、ここ数年の厳しい経済環境からは回復基調にあり、平成24年度末の新政権発足後はアベノミクスの金融緩和・財政出動により株価が上昇し、円安による輸出環境の改善など景気回復の兆しが見えてきています。一方では、これから起きる物価上昇・消費増税・電力値上げ等を見通し、個人消費におきましては生活防衛意識や節約志向が依然として強く、外食産業は厳しい状況が続いております。

このような環境の下で、当社ではサーティワンアイスクリームの永遠の経営モットーであります“*We make people happy.*”「アイスクリームを通じて人々に幸せを。」をスローガンに、全てのお客様に高品質で美味しいアイスクリームと“FUN(楽しいこと、嬉しいこと、感動すること)”に満ちたひとときを提供し、日本で最も愛され親しまれるチェーンとなることを目指すとともに、企業の継続的成長の維持と、企業価値の増大に努めてまいりました。

営業面においては、1月はアイスクリームの詰め合せ商品であるバラエティパック、ギフトボックス、パーティーボックスをお買い上げのお客様に、‘スヌーピー’ハートディッシュをプレゼントするニューイヤープロモーション(1月1日～1月6日)を実施し、フレーバーのバラエティさ・楽しさを訴え、高単価商品の拡販とヘビーユーザーの再来店を促進いたしました。

引き続き冬場のテイクアウト商品として、お求めやすいお得な価格で期間限定の新商品「‘スヌーピー’ハッピーバッグセット」(1月12日～2月15日)を販売いたしました。テイクアウト用保冷バッグやアイスクリームのパッケージも全て‘スヌーピー’のデザインとし、消費者の購買意欲を高めました。

3月の「ひなまつり」(2月16日～3月3日)では、“ひなだんかざり”、“おひなさまカップ”、“苺おひなさまカップ”や、ひなまつり仕様のアイスクリームケーキなど期間限定商品を販売し、オケージョン商戦の売上を確保いたしました。

また、苺の美味しさをたっぷり味わえる“フレッシュストロベリーサンデー”(12月26日～3月31日)を販売し、アイスクリーム専門店サーティワンならではのシーズンサンデーを提供することにより、ブランドの差別化を図りました。

3月4日からは、昨年は4月に実施した「ワンダフルイースター」(3月4日～3月29日)を実施いたしました。イースターらしいタマゴをモチーフにしたエッグカップサンデーに新商品ヒヨコエッグを加え、持帰り商品のイースターバラエティBOX、イースターに因んだアイスクリーム2種類(イースターヨーグベリー、イースターエッグハント)や新商品のフルーツミックスを販売し、3月の売上増を図りました。

そして、当期は当社創立40周年となりますので、これまでのご愛顧に感謝する様々なプロモーションを企画しております。その第一弾として3月30日から6月にかけて「31 ニューフレーバーコンテスト」を実施いたします。これは当社ホームページ上で新しいフレーバー開発のアイディアを広く消費者へ募り、優勝したフレーバーを9月のフレーバー・オブ・ザ・マンスとして全国のサーティワンアイスクリーム・ショップで発売する消費者参加型の企画です。

また、店頭においても3月30日から4月26日まで「Get All 31 Flavors! 31種類ひとりじめのチャンス!」を実施いたします。これは、商品を購入されたお客様に抽選券を400円毎に1枚お渡しし、パソコンまたはモバイルよりプロモーション特設サイトにあるゲームでアタリが出た3,100名様に、キッズサイズのシングルコーン・カップ引換券31枚をプレゼントするインスタント方式のプロモーションです。

更にダブル・チャンスとして、アタリ・ハズレ関係なく抽選券4枚でキッズサイズのシングルコーン・カップ1個をプレゼントいたします。

なお、新たなコミュニケーション・ツールとして3月1日より公式Facebookページを開設しました。消費者と双方向のコミュニケーションが可能なFacebookを活用し、ブランドロイヤリティの醸成と店舗への来店頻度向上へ繋げてまいります。

店舗開発の状況といたしましては、2009年から新しいロゴの看板と店舗デザイン「Hip Hop」を導入し、店舗イメージ刷新を図っております。新しい店舗は当期11店開設し、当第1四半期末の店舗数は1,112店舗と前第1四半期末に対して17店舗増加いたしました。改装は当期26店実施し、既存店へも新しい店舗デザインの導入促進をいたしました。

以上の結果、当第1四半期の売上高は37億63百万円(前年同期比3.2%増)となりました。

売上原価は、主に売上高の増加により14億61百万円(前年同期比1.8%増)となりました。

販売費及び一般管理費は、21億44百万円(前年同期比6.2%増)となりました。主な増加要因は、販売強化のための広告宣伝費(66百万円)、販売促進費(13百万円)の増加及び業容拡大による人員増に伴う人件費の増加(20百万円)であります。

この結果、営業利益1億57百万円(前年同期比18.1%減)、経常利益1億70百万円(前年同期比15.9%減)となりました。

また、四半期純利益は91百万円(前年同期比18.7%減)となりました。

なお、当社はアイスクリーム製品の製造及び販売等を行う単一セグメントのため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末における総資産は前事業年度末に比べ10億52百万円減少の144億94百万円となりました。これは主に、配当金の支払と法人税等の支払により現金及び預金が増加したこと、及び12月と3月の売上ボリュームの差等により売掛金が増加したことによるものであります。

負債は前事業年度末に比べ6億82百万円減少の39億34百万円となりました。これは主に法人税等の支払による未払法人税等の減少によるものであります。

純資産は前事業年度末に比べ3億69百万円減少の105億59百万円となりました。これは主に四半期純利益を剰余金の配当額が上回ったため、繰越利益剰余金が増加したことによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成25年2月6日に公表いたしました「平成24年12月期 決算短信(非連結)」の業績予想より変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当事業年度の予想税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前当期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位: 千円)

	前事業年度 (平成24年12月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,890,270	3,121,903
売掛金	3,062,349	2,341,061
製品	617,193	858,516
原材料	270,247	406,786
貯蔵品	239,569	161,679
前渡金	21,733	38,496
前払費用	146,954	193,976
繰延税金資産	73,914	65,118
未収入金	32,309	42,984
その他	60,803	101,506
貸倒引当金	△14,338	△20,420
流動資産合計	8,401,007	7,311,610
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,867,323	1,867,323
減価償却累計額	△1,135,663	△1,146,717
建物(純額)	731,659	720,606
構築物	187,899	187,899
減価償却累計額	△136,145	△136,993
構築物(純額)	51,753	50,906
機械及び装置	2,055,115	2,056,015
減価償却累計額	△1,654,181	△1,670,422
機械及び装置(純額)	400,933	385,592
賃貸店舗用設備	3,095,969	3,112,109
減価償却累計額	△1,591,487	△1,616,516
賃貸店舗用設備(純額)	1,504,482	1,495,593
直営店舗用設備	396,461	401,071
減価償却累計額	△141,344	△153,132
直営店舗用設備(純額)	255,116	247,938
車両運搬具	58,448	60,776
減価償却累計額	△24,407	△26,200
車両運搬具(純額)	34,041	34,575
工具、器具及び備品	677,409	681,390
減価償却累計額	△535,102	△550,025
工具、器具及び備品(純額)	142,307	131,364
土地	695,362	695,362
建設仮勘定	64,770	183,319
有形固定資産合計	3,880,428	3,945,259

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年12月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年3月31日)
無形固定資産		
ソフトウェア	142,306	122,553
電話加入権	17,065	17,065
無形固定資産合計	159,371	139,619
投資その他の資産		
投資有価証券	32,304	43,086
従業員に対する長期貸付金	10,636	10,433
破産更生債権等	222,744	221,500
長期前払費用	577,965	549,774
繰延税金資産	139,575	135,946
敷金及び保証金	2,178,146	2,191,479
その他	21,538	22,155
貸倒引当金	△76,792	△76,326
投資その他の資産合計	3,106,119	3,098,051
固定資産合計	7,145,919	7,182,930
資産合計	15,546,926	14,494,540
負債の部		
流動負債		
買掛金	380,343	627,312
未払金	1,216,802	953,395
未払費用	28,762	37,244
未払法人税等	665,274	68,076
未払消費税等	47,613	—
前受金	639,738	560,804
預り金	126,062	151,885
賞与引当金	29,703	93,319
役員賞与引当金	11,000	1,000
その他	34,439	28,488
流動負債合計	3,179,741	2,521,526
固定負債		
退職給付引当金	163,069	169,915
役員退職慰労引当金	77,400	47,577
資産除去債務	85,405	85,629
長期預り保証金	1,111,906	1,110,104
固定負債合計	1,437,782	1,413,225
負債合計	4,617,523	3,934,752

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年12月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	735,286	735,286
資本剰余金		
資本準備金	241,079	241,079
資本剰余金合計	241,079	241,079
利益剰余金		
利益準備金	168,676	168,676
その他利益剰余金		
別途積立金	4,140,000	4,140,000
繰越利益剰余金	5,643,589	5,253,077
利益剰余金合計	9,952,266	9,561,753
自己株式	△16,893	△16,893
株主資本合計	10,911,738	10,521,225
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,125	8,678
繰延ヘッジ損益	15,538	29,884
評価・換算差額等合計	17,664	38,562
純資産合計	10,929,403	10,559,787
負債純資産合計	15,546,926	14,494,540

(2) 四半期損益計算書
第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日)
売上高	3,646,231	3,763,146
売上原価	1,435,368	1,461,220
売上総利益	2,210,863	2,301,926
販売費及び一般管理費	2,018,229	2,144,222
営業利益	192,634	157,703
営業外収益		
受取利息	100	82
店舗用什器売却益	12,921	16,855
その他	2,296	1,528
営業外収益合計	15,318	18,466
営業外費用		
店舗設備除去損	4,377	5,166
その他	797	554
営業外費用合計	5,174	5,720
経常利益	202,777	170,450
特別損失		
固定資産売却損	1,110	—
固定資産廃棄損	48	12,898
特別損失合計	1,159	12,898
税引前四半期純利益	201,618	157,551
法人税等	89,318	66,264
四半期純利益	112,300	91,287

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。